

都市再生整備計画 事後評価シート  
備前国府地区

平成23年12月

岡山県岡山市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	岡山市		地区名	備前国府地区			面積	955ha		
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	486百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 市道改良事業(3路線)、公園(街区公園、都市緑地)、										
		提案事業	元気の館整備事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	元気の館整備事業			行政サービス棚卸し(市民事業仕分け)により、民間による類似施設の整備(民営化)に方針変更したため事業中止			関連する指標4を変更				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		水防センター整備事業			事業期間内に河川防災ステーションを国、岡山市共同で整備することになったため事業追加			指標への影響なし					
交付期間の変更	当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	おかやまエコミュージアム参加者数	人	209	H16	310	H22	モニタリング	評価値	×	あり なし	参加者数は従前値とほぼ同じで増加はしなかった。ただしイベント回数の増加や、新たに他団体によるイベントが開催されており、自然環境とのふれあう機会が増加している。	実施済
	指標2	龍ノ口グリーンシャワー公園(森)のボランティア人数	人	121	H17	181	H22		245		あり なし	ボランティア登録人数は従前値の2倍増加しており地域住民の環境への認識が深まっている。	実施済
	指標3	稲東町公園・高島公園・高島南公園の利用者数	人/日	172	H17	210	H22		249		あり なし	3公園の利用者数もそれぞれ増加しており、地域の憩いの場として利用されている。	実施済
	指標4	地区内の高齢者支援施設の定員の合計数	人	66	H17	132	H22		140		あり なし	施設整備を民間主導へ方針変更したが、民間活力を活かし供給されている。	実施済
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 <sup>1</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	新たに地元住民や利用者により維持管理を行う組織(龍ノ口グリーンシャワーの森を守る会)が発足したことで、県の財政難により廃止予定であった龍ノ口グリーンシャワー公園が龍ノ口グリーンシャワーの森として存続することになった。また、当会により自然とふれあう企画が新たに開催されており、自然とふれあう機会が創出されている。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	頭高山緑地の整備計画策定ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、地域住民の意見を取り入れた地域に親しまれる公園整備を進めていきたい。						
	持続的なまちづくり体制の構築	龍ノ口山グリーンシャワーの森を守る会 高島・旭電エコミュージアム(おかやまエコミュージアム)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				地元住民が主体的に活動しており、市は後方支援に徹する。						

## 様式2-2 地区の概要

### 備前国府地区(岡山県岡山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 古からの歴史的資産や恵まれた自然環境、都市近郊という立地条件を生かし、ゆとりある環境共生型まちづくりを実現する 目標1 自然とのふれあいを通じて、自然環境の保全と活用を図る。 目標2 人とのふれあいを通じて、地域の活性化を図る。	おかもエコミュージアム参加者数	単位: 人	209 H16	310 H22	207 H22
	龍ノ口グリーンシャワー公園(森)のボランティア人数	単位: 人	121 H17	181 H22	245 H22
	稲東町公園、高島公園、高島南公園の利用者数	単位: 人/日	172 H17	210 H22	249 H22
	地区内の高齢者支援施設の定員の合計数	単位: 人	66 H17	132 H22	140 H22
		単位:	H	H	H

市道祇園1号線整備(基幹:道路)

市道祇園37号線他整備(基幹:道路)

水防センター整備(提案:地域創造支援)

(都)竹田升田線整備(関連:街路)

市道高島小橋町線歩道整備(基幹:道路)

市道中島11号線歩道整備(関連:道路)

龍ノ口グリーンシャワーの森

備前国総社

備前国府跡

高島新屋敷区画整理事業

賞田廃寺跡整備(関連)

アユモドキ繁殖事業(関連)

東ヶ丘団地宅地造成分譲事業(関連)

頭高山緑地整備(基幹:公園)

稲東町公園整備(基幹:公園)

市道高島小橋町線歩道整備(基幹:道路)

市道中島11号線歩道整備(関連:道路)

龍ノ口や百間川緑地へアクセスするための道路を整備し、国の史跡である賞田廃寺跡を整備したことにより、地区内外の市民が気軽に歴史的史跡に触れ、学ぶとともに自然環境に親しめる機会が増加した。既に都市化されている地区南側に公園を整備することにより、地区住民が自然とふれあう場やボランティア活動、町内会活動の場としても利用できる空間を提供することにより、子供から高齢者までの都市居住者のふれあいを創出した。

・当初予定されていた元気の館整備事業が民事業仕分けをへて、民営化へ方針転換した。本地区内ではその後、民間の高齢者支援施設が相次いで立地している。

・地区内公園が整備されたが、道路整備が一部残っており、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

・歴史的史跡や自然環境に親しむ機会を創出するために、市・公民館と地域住民が協力してエコミュージアム活動を継続していく。

・地域の公園が適切に利用できるよう、地域住民により組織された愛護委員会により日常的な管理を実施し、市が維持管理を行っていく。

・市民にとって元気の館跡地が有益に活用されるべく、跡地利用を検討していく必要がある。

まちの課題の変化	<p>龍ノ口や百間川緑地へアクセスするための道路を整備し、国の史跡である賞田廃寺跡を整備したことにより、地区内外の市民が気軽に歴史的史跡に触れ、学ぶとともに自然環境に親しめる機会が増加した。既に都市化されている地区南側に公園を整備することにより、地区住民が自然とふれあう場やボランティア活動、町内会活動の場としても利用できる空間を提供することにより、子供から高齢者までの都市居住者のふれあいを創出した。</p> <p>・当初予定されていた元気の館整備事業が民事業仕分けをへて、民営化へ方針転換した。本地区内ではその後、民間の高齢者支援施設が相次いで立地している。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>・地区内公園が整備されたが、道路整備が一部残っており、今後も継続して事業を実施していく必要がある。</p> <p>・歴史的史跡や自然環境に親しむ機会を創出するために、市・公民館と地域住民が協力してエコミュージアム活動を継続していく。</p> <p>・地域の公園が適切に利用できるよう、地域住民により組織された愛護委員会により日常的な管理を実施し、市が維持管理を行っていく。</p> <p>・市民にとって元気の館跡地が有益に活用されるべく、跡地利用を検討していく必要がある。</p>